

1、2、3 備中川 三谷支川

4 弥谷川



1)備中川  
1  
最下流の旭川合流点近く



1)備中川  
2  
下方下流  
頭首工工事中  
h=2m



1)備中川  
3  
頭首工  
h=1.5m  
魚の遡上可能である。



1)備中川  
4  
階段工があり魚の遡上は楽である。  
水は淀み、濁りと泡があり、水質はやや悪い。



2)備中川  
5  
湯川大出  
h=1.5m  
頭首工上は淀み、水質はやや悪い。



2)備中川  
6  
同上頭首工  
床固工があり魚の遡上しがたい構造である。



2)備中川  
7  
北房ジャンクション  
アユが藻を食っている。



2)備中川  
8  
h=1m



2)備中川  
9  
h=2m  
可動式取水工



2)備中川  
10  
河川状況  
低い頭首工が3基ある。  
水草が茂り魚は多い。  
鴨が子育てをしている。



2)備中川  
11  
中津井川合流点直下  
水草が茂りホクルが生息する。



3)備中川  
12  
河川状況  
水草がよく茂る。



3)備中川  
13  
蛍の里公園  
水草が茂りシーズン中  
は蛍が乱舞する。川に  
頭首工は無く自然の流れ  
である。



3)備中川  
14  
蛍の里公園  
川と森に蛍が乱舞する。



3)備中川  
15  
h=1m  
水草が茂り昔の自然を  
よく残している。



3)備中川  
16  
支川  
三面張+段差工  
魚はいない。



3)備中川  
17  
同上



3)備中川  
18  
h=2m  
床がため工はあるが  
魚は遡上可能である。



3)備中川  
19  
h=1.5m  
淵があり、魚の住処と  
なっている。

E-L ▶ 差込

余 白

取出

大畑支川  
20  
三面張水路となってい  
る。



三谷支川  
21  
三面張+段差工となり  
、魚はいない。



三谷支川

22

三面張河川  
魚の遡上は困難である。



三谷支川

23

段差+床固工で、魚の  
住みにくい川となっ  
ている。



3)備中川

24

h=2m



3)備中川

25

h=2m  
滞があり水草も茂るが  
頭首工は高い。



3)備中川

26

石積み緩勾配で、自然  
と魚に優しい構造とな  
っている。



4)弥谷川

27

転石の多い自然河川で  
ある。

弥谷川



4) 弥谷川  
28  
h=10m  
砂防ダム



4) 弥谷川  
29  
h=5m  
砂防ダム  
ダムが2基存在し、魚の移動は不可能である。



4) 弥谷川  
30  
自然状態で転石が分布する。



4) 弥谷川  
31  
道路工事中  
ブロック積み擁壁として  
いるが自然石も多量  
にある。



4) 弥谷川  
32  
転石が堆積する渓谷で  
自然状態の谷である。



4) 弥谷川  
33  
草谷集落  
混交林である。



3)備中川  
34  
大畑より上流域は自然  
河川である。



3)備中川  
35  
片岩が分布し、自然豊かな  
川である。



3)備中川  
36  
硬質岩が分布し、滝を  
有する流れとなっている。



3)備中川  
37  
河川状況  
自然に近い川である。



3)備中川  
38  
北房ダム  
h=35mの重力式ダム。



3)備中川  
39  
溪流沿の植生  
北房ダムから下流を望  
む。自然林が茂る。



3)備中川

40

石英斑岩が河床に露岩する溪流である。



3)備中川

41

自然豊かな川である。



3)備中川

42

h=1m



3)備中川

43

自然の流れである。



3)備中川

44

三面張工となる。

E-L ▶ 差込

余白

取出